

DVDプレーヤー

DVD-S30



保証書別添付

取扱説明書

ヤマハDVDプレーヤーDVD-S30をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ヤマハでは、製品をご購入いただきましたお客様へのサポート・サービスの充実を図るため、「お客様登録」をお願いしております。

以下のオーディオ・ビジュアルホームページからご登録ください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

上記URLから、オンラインユーザー登録へお進みください。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● 異常なおいや音がかかる。 ● 異常に高温になる。

● 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けに設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右2.5cm、上2.5cm、背面2.5cm以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口やパネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

 注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



注意

本機はデジタル信号を扱います。ほかの電気製品に障害をあたえるおそれがあります。
それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



禁止

レーザー光線をのぞき込まない。
レーザーが目当たると、視覚障害の原因になります。



禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



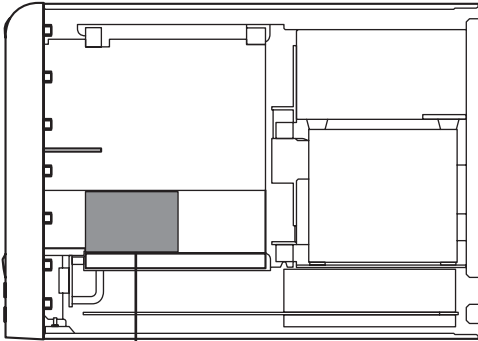
注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったらそのまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

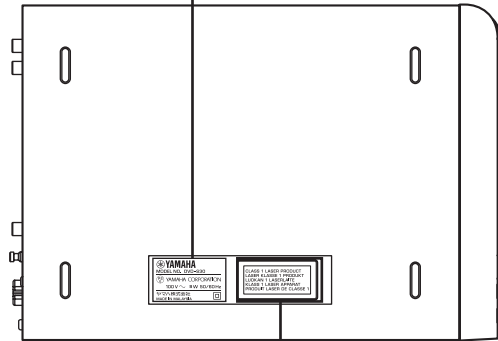
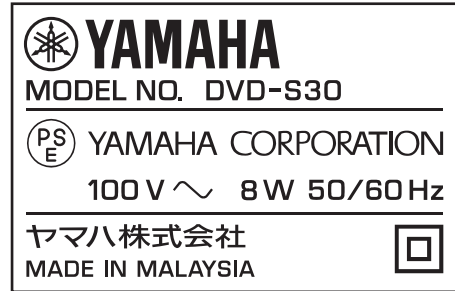
ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は有害な放射を引き起こす可能性があります。

下記のラベルは DVD プレーヤー本体の底面に貼られています。



CAUTION - VISIBLE AND / OR INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
VARNING - SYNLIIG OCH / ELLER OSYNLIIG LASERSTRÅNING NÅR DENNA DEL ÅR ÖPPNAD. STRÅLEN ÅR FARLIG.
VARO! AVATTAESSA OLET ALLTINA NÅKYVÄLLE JA / TAI NÅKYMÄTÖMÄLLE LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING - SYNLIIG OCH / ELLER OSYNLIIG LASERSTRÅNING NÅR DENNA DEL ÅR ÖPPNAD. BETRakta EJ STRÅLEN.
VORSICHT! SICHTBARE UND / ODER UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.



CLASS 1 LASER PRODUCT
 LASER KLASSE 1 PRODUKT
 LUOKAN 1 LASERLAITE
 KLASSE 1 LASER APPARAT
 PRODUIT LASER DE CLASSE 1

ディスクについて

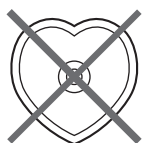
DVD のリージョンコードについて

一般の DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクにはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では下記のディスクが再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向け	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 

ディスクに関するご注意

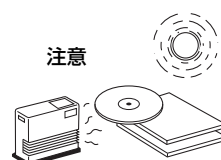
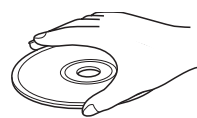
- ・本機は、DVD ビデオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD、音楽 CD、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、DVD-R、および DVD-RW（ビデオフォーマットのみ）のディスク再生に対応しています。
- ・ファナライズされていない CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、DVD-R、および DVD-RW ディスクは再生できません。ファナライズとは、再生対応機器で再生できるように処理することです。
- ・本機は 8cm ディスクには対応していません。
- ・信用できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ・ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。



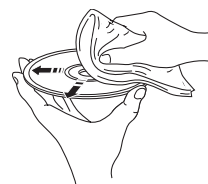
- ・DVD ビデオ、ビデオ CD の中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの説明をご参照ください。
- ・記録方法（PC 環境やソフトウェアなど）やディスクの状態（傷やそりがあるなど）によっては再生できない場合があります。

ディスクの取扱い

- ・ディスクを持つときは、ディスクの縁や真中の穴を持つようにして、表面に触れないでください。
- ・再生時以外はディスクを本機に入れたままにしないでください。
- ・ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ・ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどを付けたりしないでください。
- ・アダプターや傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ・市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。
- ・ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿度やほこりの多いところは避けてください。



- ・ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- ・誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。



目次

準備する

製品構成.....	2
各部の名称と機能.....	3
フロントパネル.....	3
リモコン.....	4
接続する.....	6
リモコンを使用する.....	7
リモコンの電池を交換する.....	7

操作する

はじめに.....	8
ステップ1：電源を入れる.....	8
ステップ2：映像方式を設定する.....	8
ステップ3：オンスクリーンディスプレイ (OSD)の言語を設定する.....	9
ステップ4：ディスク(音声、字幕、 ディスクメニュー)の言語を設定する.....	9
各機能が対応するディスクの種類.....	10
基本的な再生操作.....	11
繰り返し再生する(リピート再生).....	12
指定した部分のみを繰り返し再生する (A-Bリピート).....	12
経過時間を指定して再生する (タイムサーチ).....	13
DVDビデオのタイムサーチ.....	13
ビデオCD/スーパービデオCD のタイムサーチ.....	13
音楽CDのタイムサーチ.....	14
順序を指定して再生する (プログラム再生).....	14
音声/字幕言語を選択する.....	15
映像を拡大/縮小する(ズーム).....	15
ディスクアングルを選択する.....	16
ディスクのメニューを操作する.....	16
DVDメニューを操作する.....	16
プレイバックコントロールメニュー を操作する.....	16
視聴制限を設定する.....	17
視聴制限レベルを設定する.....	17
ディスクをロックする.....	17
パスワードを変更する.....	18
MP3やJPEG画像ディスクを楽しむ.....	18
JPEG画像を一覧表示する.....	19
本機のリモコンでテレビを操作する.....	19
オンスクリーンメニューで 再生設定を変更する.....	20
オンスクリーンメニュー一覧.....	20
各種設定を変更する (セットアップメニュー).....	21
セットアップメニュー一覧.....	22

その他の情報

故障かな?と思ったら.....	24
全般.....	24
リモコンの操作.....	24
ディスクの再生.....	25
用語解説.....	27
著作権とロゴマーク.....	28
言語コード一覧.....	29
リモコンコード一覧.....	30
主な仕様.....	31

■ 本書について

- 本書はDVD-S30の接続および操作方法について説明しています。外部機器の操作方法については、各機器に付属している取扱説明書をご参照ください。
- 本書では、本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- 「ご注意」では操作・設定を行う際に留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

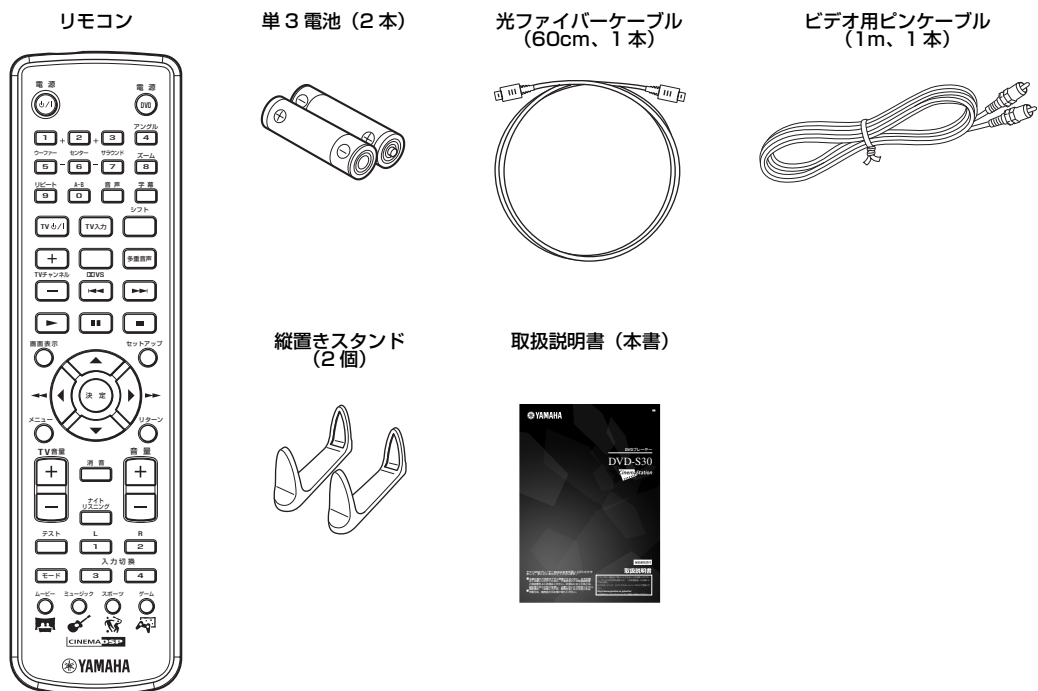
準備する

製品構成

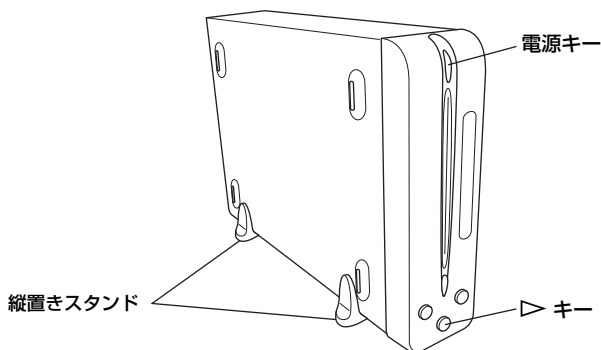
DVD-S30 の製品構成は以下のとおりです。梱包箱を開封後、すべてそろっていることをご確認ください。

DVD プレーヤー (DVD-S30) (1 台)

付属品

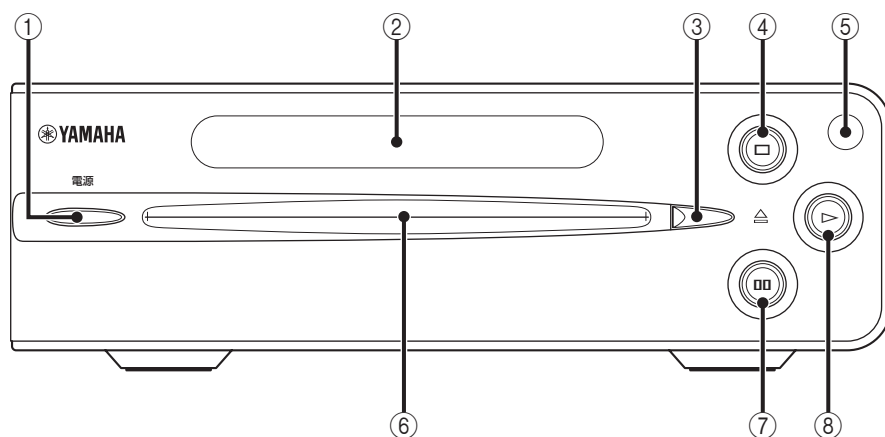


付属の縦置きスタンドを使用すると、DVD プレーヤーを縦に設置することができます。(下図のように電源キーが上側、▶ キーが下側になるように設置してください。)



各部の名称と機能

■ フロントパネル



① 電源キー

本機の電源（オン / スタンバイ）を切りかえます。



スタンバイ時には少量の電力を消費します。

② フロントパネルディスプレイ

再生情報や設定を表示します。

③ △（ディスク取り出し）キー

本機にセットされているディスクを取り出します。

ご注意

△キーを押すと、ディスクが本機からイジェクトされます（ディスクの半分がディスク挿入口から出た状態になります）。この際、ディスクを再度本機に挿入する場合は、△キーまたは▷キーを押すか、ディスク挿入口からディスクを完全に取り出してから再度挿入してください。ディスクがイジェクトされた状態で無理に押し込むと、故障の原因になります。

④ □（停止）キー

ディスク再生を停止します。（→ 11 ページ）

⑤ リモコン受光窓

リモコンの信号を受信します。

⑥ ディスク挿入口

再生するディスクを挿入します。

ご注意

ディスクを挿入する際は、データ面を下にして挿入してください。本機を縦に設置している場合は、データ面を左にして挿入してください。

⑦ 〇〇（一時停止）キー

ディスク再生を一時的に停止します。（11 ページ）

⑧ ▷（再生）キー

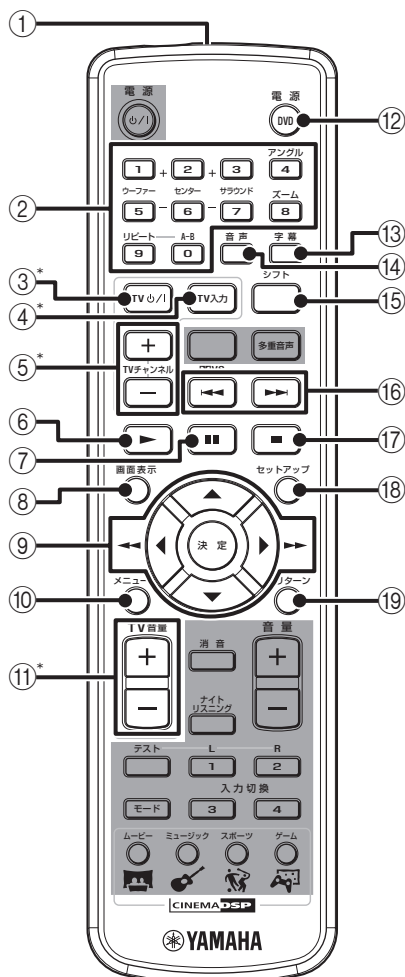
ディスクを再生します。（11 ページ）

■ リモコン

リモコンの各キーの名称と機能は以下のとおりです。



イラストでグレーになっているキーは、本機と組み合わせてヤマハホームシアターサウンドシステム AVX-S30 をご使用の場合に、AV アンプの操作に使用します。



* 本機のリモコンでテレビを操作するには、リモコンコードを設定する必要があります。詳しくは、「本機のリモコンでテレビを操作する」(→ 19 ページ)をご参照ください。

① 赤外線送信部

リモコンの信号を本体に送信します。

② 数字キー (1 ~ 9、0)

トラック番号やチャプター番号など、数値を入力する際に使用します。

③ TV 電源キー *

テレビの電源 (オン / スタンバイ) を切りかえます。

④ TV 入力キー *

テレビの入力を切りかえます。

⑤ TV チャンネルキー + / - *

テレビのチャンネルを切りかえます。

⑥ ▶ (再生) キー

ディスクを再生します。(→ 11 ページ)

⑦ ■ (一時停止) キー

ディスク再生を一時的に停止します。(→ 11 ページ)

⑧ 画面表示キー

オンスクリーンメニューをテレビ画面に表示します。(→ 20 ページ)

⑨ ▲、▼、◀、▶、決定キー

オンスクリーンメニューなどの設定に使用します。

再生中に ▲ キーを押すとスロー戻し、▼ キーを押すとスロー再生します。

◀◀、▶▶ (サーチ) キー

スピードを指定して、再生を早戻し、早送りします。(→ 11 ページ)

⑩ メニューキー

DVD メニューをテレビ画面に表示します。(→ 16 ページ) ビデオ CD を再生している場合は、プレイバックコントロールメニューを表示 / 非表示にします。(→ 16 ページ)

⑪ TV 音量キー + / - *

テレビの音量を調節します。

⑫ 電源キー (DVD)

本機の電源 (オン / スタンバイ) を切りかえます。



スタンバイ時には少量の電力を消費します。

⑬ 字幕キー

DVD ビデオの字幕言語を切りかえます。(→ 15 ページ)

⑭ 音声キー

DVD ビデオの音声言語や、ビデオ CD およびスーパービデオ CD の音声チャンネルを切りかえます。(→ 15 ページ)

⑮ シフトキー

シフトキーを押した状態で、以下のキーを押すとディスク再生の各種設定を変更することができます。

アングルキー：ディスクアングル（表示角度）を切りかえます。(→ 16 ページ)

ズームキー：ズーム（拡大 / 縮小）表示の倍率を切りかえます。(→ 15 ページ)

リピートキー：リピート再生を設定します。(→ 12 ページ)

A-B キー：A-B リピートを設定します。(→ 12 ページ)



本機と組み合わせると、ヤマハホームシアターサウンドシステム AVX-S30 をご使用になる場合、シフトキーを押した状態で、ウーファー+ / -キー、センター+ / -キー、サラウンド+ / -キーを押すと、各スピーカーチャンネルの音量を調節できます。

⑯ ◀▶ (スキップ) キー

再生中のトラック、次のトラックの開始位置にスキップします。(→ 11 ページ)

押し続けると、再生を早戻し、早送りします。(→ 11 ページ)

⑰ ■ (停止) キー

ディスク再生を停止します。(→ 11 ページ)

⑱ セットアップキー

セットアップメニューをテレビ画面に表示します。(→ 21 ページ)

⑲ リターンキー

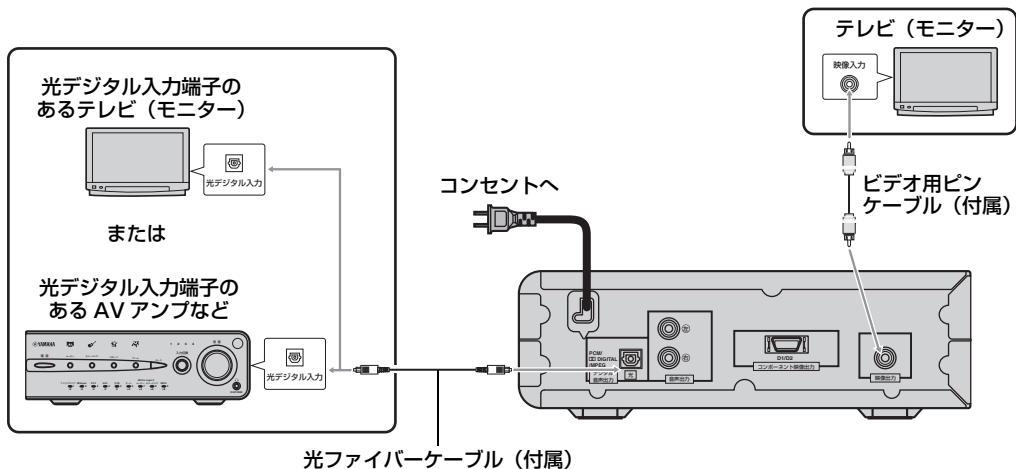
ディスクメニューで前の画面に戻ります。(→ 16 ページ)

接続する

テレビや AV アンプなどの外部機器と本機の接続方法について説明します。外部機器の機能については、各機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

ご注意

DVD プレーヤーおよび外部機器の電源コードは、すべてのケーブル接続が完了してから接続してください。



デジタル音声出力端子について

- 本機のデジタル音声出力端子は PCM、ドルビーデジタル、DTS 信号方式に対応しています。
- 本機のデジタル音声出力端子は JEITA 規格に準拠しています。デジタル接続で外部機器を接続する際は、JEITA 規格に準拠した光ファイバーケーブルをご使用ください。



本機は DTS 信号をデジタル出力できます。DTS フォーマットで記録されたディスクを再生するには、DTS デコーダーを搭載した外部機器のデジタル入力端子と本機のデジタル音声出力端子を接続します。

その他のビデオ接続 (高画質な映像を楽しむ)

テレビに D 端子が備わっている場合、市販の D 端子ケーブルを使用して、本機のコンポーネント映像出力 (D1/D2) 端子とテレビを接続すると、より高画質な映像をお楽しみいただけます。(本機の D 端子は D1 および D2 の規格に対応しています。)

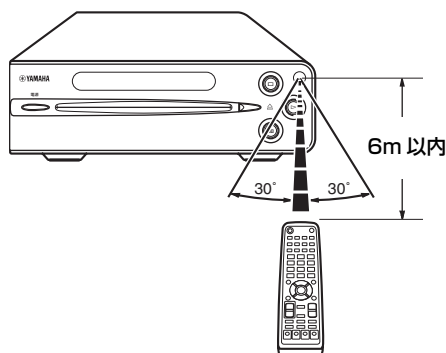


コンポーネント映像出力端子はプログレッシブ信号を出力できます。プログレッシブ機能で高画質な映像を楽しむには、セットアップメニューで「プログレッシブ」を「ON」に設定してください (→ 23 ページ)。

その他のオーディオ接続

テレビや AV アンプなどの外部機器に光デジタル入力端子がない場合、市販のステレオピンケーブルを使用して、本機の音声出力端子 (左、右) と外部機器の音声入力端子 (左、右) を接続してください。

リモコンを使用する



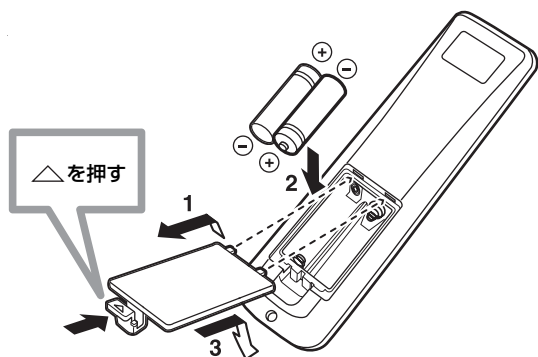
リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光窓に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から6m 以内で正面から左右に30 度以内です。

ご注意

- ・リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- ・リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- ・リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 気温・湿度が高い場所（ヒーターの近くや風呂場など）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所

■ リモコンの電池を交換する

リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。



1 バッテリーカバーの △ マークを押しながら、カバーをリモコンから取り外す。

2 新しい単3 乾電池（2 本）を、電池ケースに挿入する。
電池の向き（+ / - 極性）を正しく挿入してください。

3 バッテリーカバーをリモコンに装着する。

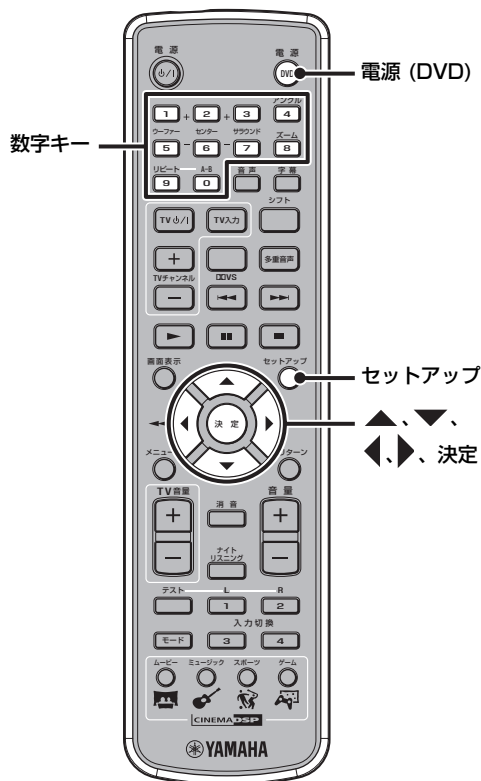
ご注意

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性質の異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの原因となります。
- ・使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。
- ・電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に漏れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
- ・リモコンから電池を取り出したら2 分以内に新しい電池を挿入してください。これ以上の時間が経過すると、リモコンのメモリー内容が消去されます。

操作する

はじめに

ディスク再生を開始する前に、下記の手順で DVD プレーヤーの初期設定を行なってください。



■ ステップ 2：映像方式を設定する

本機は NTSC と PAL の映像方式に対応しています。本機と接続したテレビの映像方式をご確認のうえ、正しい映像方式を選択してください。(初期設定では、「NTSC」が選択されています。)



1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

2 ◀ または ▶ キーを押して「映像設定ページ」を選択し、▲ または ▼ キーを押して「TV タイプ」を選択し、▶ キーを押す。

3 ▲ または ▼ キーを押して「PAL」、「マルチ」、「NTSC」のいずれかを選択し、決定キーを押す。

PAL：

テレビの映像方式が PAL の場合に選択します。

マルチ：

テレビの映像方式が PAL と NTSC の両方に対応している場合に選択します。ディスクの映像信号にしたがって、PAL または NTSC が自動的に選択されます。

NTSC：

テレビの映像方式が NTSC の場合に選択します。(通常、日本では NTSC 方式が採用されています。)

■ ステップ 1：電源を入れる

1 TV や AV アンプなどの電源を入れてから、電源 (DVD) キーを押して本機の電源を入れる。フロントパネルディスプレイが点灯します。



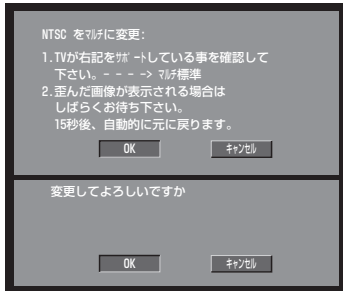
本機はオートスリープ機能(省エネルギー機能)を備えています。再生が停止した状態で約 30 分間をわたって操作しなかった場合、節電のため、本機は自動的にスタンバイモードになります。

2 テレビや AV アンプの入力を本機に切りかえる。

テレビ画面に本機のスタート画面が表示されます。

4 ◀ または ▶ キーを押して「OK」を選択し、決定キーを押す。

確認画面が表示されたら、手順4を再度実行します。



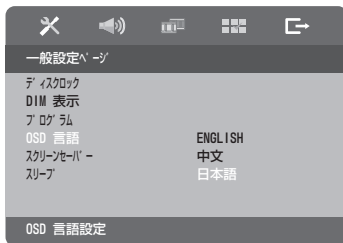
前の画面に戻るには、◀ キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。

ご注意

- ワイドテレビをご使用の場合は、「映像設定ページ」の「TV ディスプレイ」で、「16:9」を選択してください。詳しくは、「TV ディスプレイ」(→ 23 ページ)をご参照ください。
- 誤った映像方式を設定すると、画面が乱れるため、メニュー画面での操作が困難になります。このような場合、本機にディスクがセットされていない状態(ディスプレイに「NO DISC」と表示されている状態)で、▶ キーを押してから音声キーを押して、映像方式(NTSC、PAL)を切りかえてください。

■ ステップ3: オンスクリーンディスプレイ(OSD)の言語を設定する

オンスクリーンディスプレイで使用する言語を設定します。(初期設定では、「日本語」が選択されています。)



1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

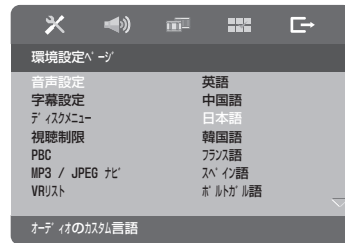
2 ◀ または ▶ キーを押して「一般設定ページ」を選択し、▲ または ▼ キーを押して「OSD 言語」を選択し、▶ キーを押す。

3 ▲ または ▼ キーを押して使用する言語を選択し、決定キーを押す。

前の画面に戻るには、◀ キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。

■ ステップ4: ディスク(音声、字幕、ディスクメニュー)の言語を設定する

DVD 再生時に使用する言語(音声、字幕、ディスクメニュー)を設定します。なお、設定した言語がディスクに収録されていない場合、再生するディスクの初期設定にしたがって、自動的に言語が選択されます。(初期設定では、「音声」および「ディスクメニュー」には「日本語」、「字幕」には「OFF」が選択されています。)



1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

2 ◀ または ▶ キーを押して「環境設定ページ」を選択し、▲ または ▼ キーを押して「音声設定」、「字幕設定」、「ディスクメニュー」のいずれかを選択し、▶ キーを押す。

ご注意

STOP モード(→ 11 ページ)を除き、本機にディスクがセットされているときは、「環境設定ページ」を選択できません。

3 ▲ または ▼ キーを押して使用する言語を選択し、決定キーを押す。

選択したい言語がリストにない場合は、「その他」を選択し、数字キーで4桁の言語コード(→ 29 ページ)を入力してから、決定キーを押してください。

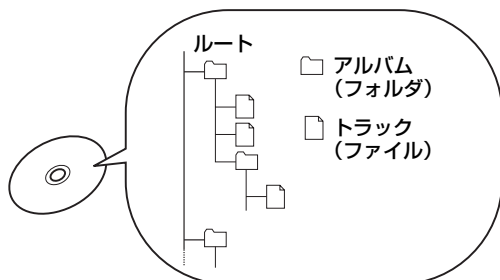
前の画面に戻るには、◀ キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。

各機能が対応するディスクの種類

本機では映画や音楽ディスクなどさまざまなディスクをお楽しみいただけますが、ディスクの種類により使用できる機能が異なります。ここでは、本機の機能が対応するディスクの種類を以下のアイコンで表しています。アイコンの表示がない場合は、すべての種類のディスクに対応しています。

DVD ビデオ / DVD-VR	ビデオ CD/ スーパービデオ CD	音楽 CD
DVD-V	VCD	CD

MP3 および JPEG 画像ディスクについて



本機では CD-R や CD-RW に収録した MP3 ファイルを音楽 CD と同様に再生することができます。この際、MP3 ディスク内のフォルダはアルバム、ファイルはトラックとして認識されます。また CD-R や CD-RW に収録した JPEG 画像ファイルを表示することも可能です。JPEG 画像ファイルの表示方法については、「MP3 や JPEG 画像ディスクを楽しむ」(→ 18 ページ) をご参照ください。

MP3 とは？

MPEG-1 Audio Layer-3 の略で、音声データを圧縮するフォーマットの 1 つです。音楽 CD と同じレベルの音質を維持してデータ容量を約 1/11 に圧縮することができます。

ご注意

- 録音状態により録音順番どおりにトラックが再生されない場合があります。
- 本機は 32/64/96/128/192/256kbps の MP3 ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。
- 本機は 32/44.1/48kHz のサンプリング周波数に対応しています。
- DTS フォーマットで記録されたソースを再生するには DTS デコーダーを搭載した外部機器と本機を接続する必要があります。

JPEG とは？

静止画像データを圧縮するフォーマットのひとつです。若干の画質劣化を許容する(一部のデータを切り捨てる)ことにより、データ容量を約 1/10 ~ 1/100 に圧縮することができます。

ご注意

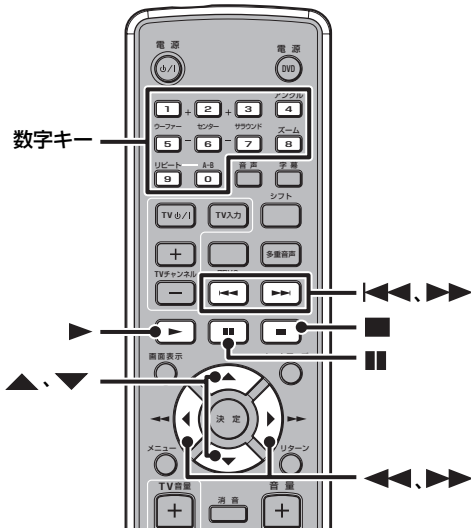
プログレッシブ JPEG 形式には対応していません。

基本的な再生操作

本機でディスクを再生する際の基本操作です。

ご注意

- キー操作時に または のアイコンが表示された場合、再生中のディスクまたは現在の状態では、該当キーの操作が適用できないことを表しています。
- ディスクの中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。



再生を開始する

ディスク挿入口にディスクを挿入します。

ディスクが挿入されると、本機は自動的に再生を開始します。ディスクメニューが自動的に起動するディスクをご使用の場合など、自動的に再生が開始されない場合は、▶ キーを押してください。

再生を停止する

■ キーを押す。

本機は自動的に再生が停止された位置を記憶します。▶ キーを押すと、その停止位置から再生が開始します。再生が停止した状態で ■ キーを再度押すと、記憶した停止位置が消去されます（STOP モード）。

再生を一時的に停止する

■ キーを押す。

通常再生に戻すには、▶ キーを押します。

コマ送りする

■ キーを押して再生を一時停止し、■ キーを繰り返して映像をコマ送りする。

■ キーを押すたびに、1 コマずつ前に進みます。通常再生に戻すには、▶ キーを押します。

早戻し / 早送りする

早戻しするには ◀◀ キーを、早送りするには ▶▶ キーを押します。

◀◀ または ▶▶ キーを押すたびに、早戻しまたは早送りのスピードが切りかわります。



◀◀ または ▶▶ キーを押し続けても、早戻しまたは早送りすることができます。この状態で、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、早戻しまたは早送りのスピードが切りかわります。

スロー再生する

スローで戻すには ▲ キーを、スローで進むには ▼ キーを押します。

▲ または ▼ キーを押すたびに、スロー再生のスピードが切りかわります。



ビデオ CD およびスーパービデオ CD は、スロー戻しに対応していません。

チャプター（トラック）をスキップする

再生中のチャプター（トラック）の開始位置にスキップするには、◀◀ キーを押します。

次のチャプター（トラック）の開始位置にスキップするには、▶▶ を押します。

前のチャプター（トラック）の開始位置にスキップするには、◀◀ キーをすばやく2回押します。

ご注意

ビデオ CD またはスーパービデオ CD でプレイバックコントロール（→ 16 ページ）を使用している際は、スキップ操作が正しく機能しない場合があります。

チャプター（トラック）を指定して再生する

数字キーを押して、チャプター（トラック）番号を指定します。

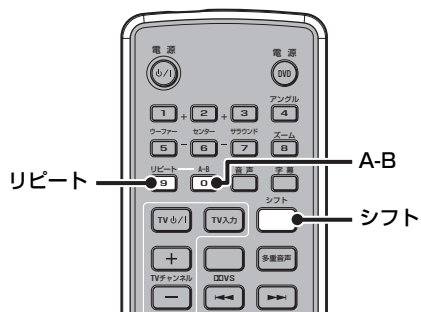
1桁のチャプター（トラック）番号を指定するには、チャプター（トラック）番号を入力してから決定キーを押すか、「0」を入力してからチャプター（トラック）番号を入力します。

繰り返し再生する（リピート再生）

リピート再生を設定すると、チャプター（トラック）、タイトル、またはディスク単位で繰り返し再生することができます。また A-B リピートを設定すると、チャプター（トラック）内の指定した部分のみを繰り返し再生することが可能です。

ご注意

- DVDによってはリピート再生が正しく機能しない場合があります。
- DVD-VR は、シャッフル機能に対応していません。
- ビデオ CD またはスーパービデオ CD でプレイバックコントロール（→ 16 ページ）を使用している際は、リピート再生は機能しません。

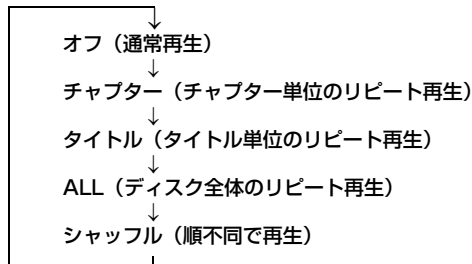


1 リピート再生を設定するディスク、タイトル、またはチャプター（トラック）を再生する。

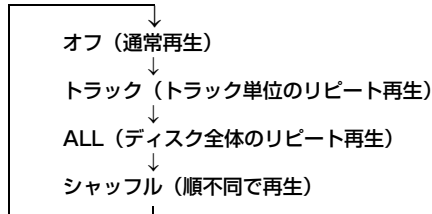
2 シフトキーを押した状態で、リピートキーを押してリピートモードを選択する。

リピートキーを押すたびに、リピートモードが以下のように切りかわります。

DVD ビデオ / DVD-VR



ビデオ CD / スーパービデオ CD / 音楽 CD



リピート再生を解除する

シフトキーを押した状態で、リピートキーを押して「オフ」を選択する。

指定した部分のみを繰り返し再生する（A-B リピート）

タイトル（トラック）内で開始位置と終了位置を指定して、その間の部分のみを繰り返し再生します。

ご注意

A-B リピートで指定できる範囲は、1 つのタイトル（トラック）内に限ります。

1 A-B リピートを設定するタイトルまたはトラックを再生する。

2 開始位置として指定する部分を再生中に、シフトキーを押した状態で A-B キーを押す。

テレビ画面に「A」と表示されます。

3 終了位置として指定する部分を再生中に、シフトキーを押した状態で A-B キーを再度押す。

テレビ画面に「AB」と表示され、A-B リピートが設定されます。

A-B リピートを解除する

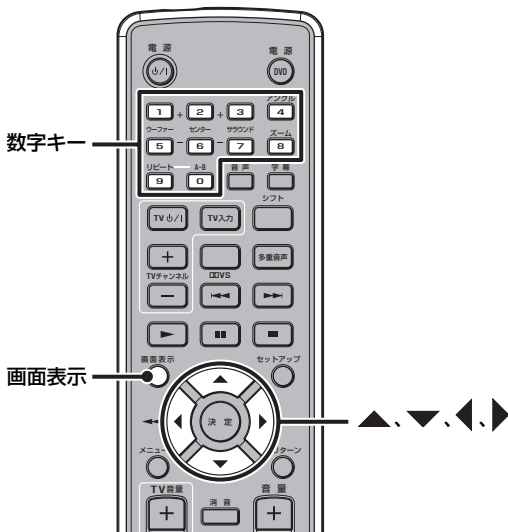
シフトキーを押した状態で、A-B キーを押す。

経過時間を指定して再生する (タイムサーチ)

再生する位置を経過時間で指定することができます。

で注意

- ビデオCDまたはスーパービデオCDでタイムサーチを使用した場合、プレイバックコントロール(→16ページ)は自動的に非表示になります。
- 収録時間を超える数値(経過時間)を指定することはできません。



■ DVD ビデオのタイムサーチ

- 再生中に画面表示キーを押して、テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示する。

メニュー	▶		
タイトル	01/01		
チャプター	01/15		
音声設定	3/2.1CH	英語	
字幕設定	OFF		
ピットレート 77	TT	経過時間	0:00:13

- ▲ または ▼ キーを押して「タイトル時間」または「チャプター時間」を選択し、▶ キーを押す。

タイトル時間：

再生中のタイトルの経過時間を指定します。

チャプター時間：

再生中のチャプターの経過時間を指定します。

- 数字キーを押して、時：分：秒を指定する。
指定した経過時間から再生が開始します。



前の画面に戻るには、◀ キーを押します。オンスクリーンメニューを終了するには、画面表示キーを押します。

■ ビデオCD/スーパービデオCDのタイムサーチ

- 再生中に画面表示キーを押して、テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示する。

メニュー	▶		
トラック	01/01		
トータル時間	1:06:33		
トラック時間	1:06:33		
リビート	OFF		
ピットレート 70		経過時間合計	0:00:07

- ▲ または ▼ キーを押して「トータル時間」または「トラック時間」を選択し、▶ キーを押す。

トータル時間：

再生中のディスクの経過時間を指定します。

トラック時間：

再生中のトラックの経過時間を指定します。

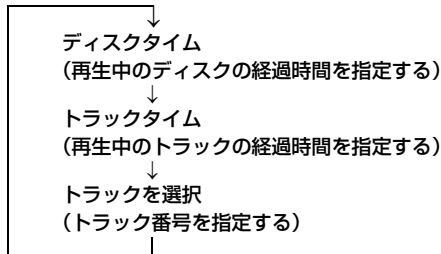
- 数字キーを押して、時：分：秒を指定する。
指定した経過時間から再生が開始します。



前の画面に戻るには、◀ キーを押します。オンスクリーンメニューを終了するには、画面表示キーを押します。

■ 音楽 CD のタイムサーチ

- 1 画面表示キーを繰り返し押し、「ディスクタイム」、「トラックタイム」、「トラックを選択」のいずれかを選択する。



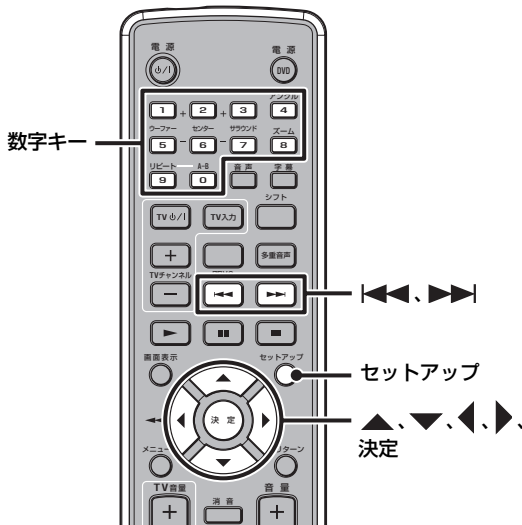
- 2 数字キーを押して、時：分：秒（手順 1 で「トラックを選択」を選択した場合は、トラック番号）を指定する。
指定した経過時間から再生が開始します。

順序を指定して再生する (プログラム再生)

ディスクに収録されているチャプターやトラックをお好みの順序で再生する機能です。ディスク 1 枚につき最大 20 チャプター（トラック）のプログラム登録が可能です。（本機はディスク 10 枚分のプログラム登録を記憶します。）

ご注意

- ビデオ CD またはスーパービデオ CD でプログラム再生を設定している際は、プレイバックコントロール（→ 16 ページ）は機能しません。
- MP3 ディスクおよび JPEG 画像ディスクは、プログラム再生に対応していません。



- 1 ディスクがセットされた状態で、セットアップキーを押してテレビ画面にセットアップメニューを表示する。

- 2 ◀ または ▶ キーを押して「一般設定ページ」を選択し、▲ または ▼ キーを押して「プログラム」を選択し、▶ キーを押す。

- 3 決定キーを押して、入力メニューを表示する。

- 4 ▲、▼、◀、または ▶ キーを押してプログラム番号を選択し、決定キーを押す。

◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前または次のページに切りかわります。

- 5 DVD ビデオの場合は、数字キーと決定キーを使ってタイトル番号とチャプター番号を入力する。
ビデオ CD、スーパービデオ CD、音楽 CD の場合は、数字キーと決定キーを使ってトラック番号を入力する。

手順 4 と 5 を繰り返し、別のプログラム番号にタイトル、チャプター、またはトラックを登録します。

- 6 プログラム再生を開始するには、▲、▼、◀、または ▶ キーを押して「開始」を選択し、決定キーを押す。



- プログラム再生を解除するには、▲、▼、◀、または ▶ キーを押して「終了」を選択し、決定キーを押します。
- 登録したチャプターやトラックを消去するには、▲、▼、◀、または ▶ キーを押してプログラム番号を選択し、決定キーを押します。

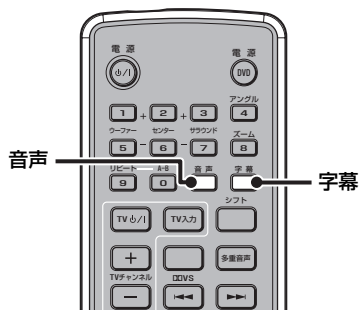
音声 / 字幕言語を選択する

DVD VCD

ディスク再生時に使用する音声言語と字幕言語を選択します。選択しない場合、セットアップメニュー(→21ページ)で設定されている言語が自動的に適用されます。

ご注意

- この機能はマルチ言語対応ディスクでのみ使用することができます。また、選択できる言語はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。
- ビデオ CD およびスーパービデオ CD では、音声キーで使用する音声チャンネル(ステレオ、モノラルなど)を切りかえることができます。音声 / 字幕言語の切りかえには対応していません。



音声言語を選択するには、音声キーを繰り返し押します。

字幕言語を選択するには、字幕キーを繰り返し押します。

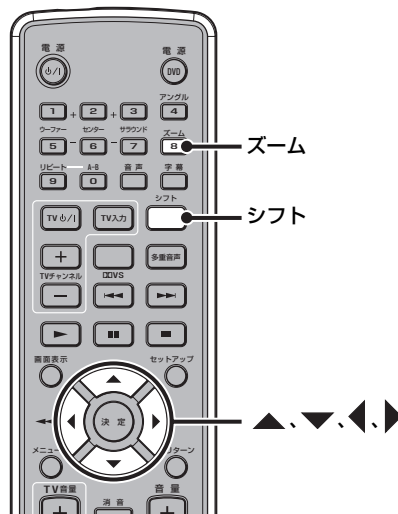


字幕表示を消すには、字幕キーを繰り返し押しして「OFF」を選択します。

映像を拡大 / 縮小する (ズーム)

DVD VCD

映像を拡大または縮小して表示することができます。



- 再生中にシフトキーを押した状態で、ズームキーを繰り返し押す。

ズームキーを押すたびに、サイズが以下のように切りかわります。

2X → 3X → 4X → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 等倍 (1X)

- 手順1で「2X」、「3X」、または「4X」を選択した場合は、▲、▼、◀、または▶キーを押して表示位置を調節する。



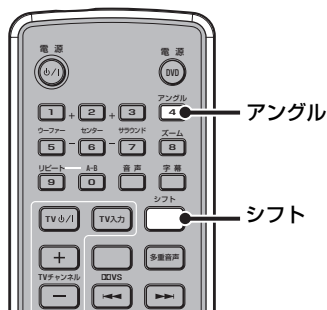
通常のサイズに戻すには、シフトキーを押した状態で、ズームキーを繰り返し押しして等倍を選択します。

ディスクアングルを選択する DVD

DVD ビデオ再生時にディスクアングル（表示角度）を切りかえます。

ご注意

この機能はマルチアングル対応 DVD ビデオ でのみ使用することができます。また、選択できるアングル（角度）はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。



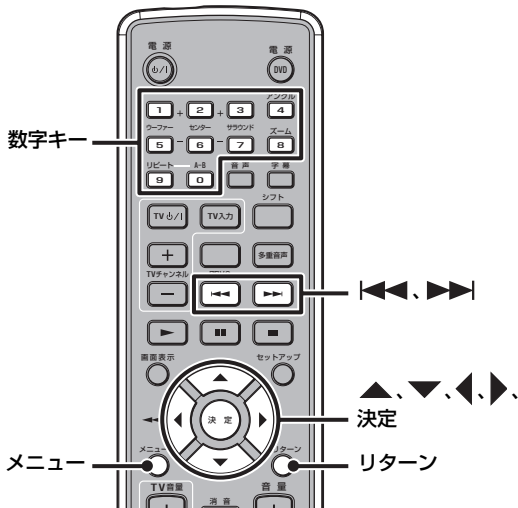
再生中にシフトキーを押した状態で、アングルキーを繰り返し押して、お好みのアングル（角度）を選択する。

ディスクのメニューを操作する

DVD ビデオ やビデオ CD には、ディスク独自のメニュー（DVD メニュー / プレイバックコントロールメニュー）が収録されています。これらのメニューを使用すると、そのディスクが備えているさまざまな機能を操作できます。

ご注意

メニューの内容や操作方法はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。



DVD メニューを操作する DVD

1 メニューキーを押して、テレビ画面に DVD メニューを表示する。



ディスクによっては、ディスク挿入後に DVD メニューが自動的に表示されます。

2 ▲、▼、◀、または ▶ キーを押してメニュー項目を選択し、決定キーを押して確定する。

プレイバックコントロールメニューを操作する VCD

プレイバックコントロール機能を備えているビデオ CD またはスーパービデオ CD を再生すると、テレビ画面にプレイバックコントロールメニューが自動的に表示されます。この際、以下のキーを使用してメニューを操作することができます。

数字キー：項目を選択します。

▶▶ キー：次の画面を表示します。

◀◀ またはリターンキー：前の画面を表示します。

決定キー：選択した項目を確定します。

メニューキー：プレイバックコントロールメニューを表示 / 非表示にします。



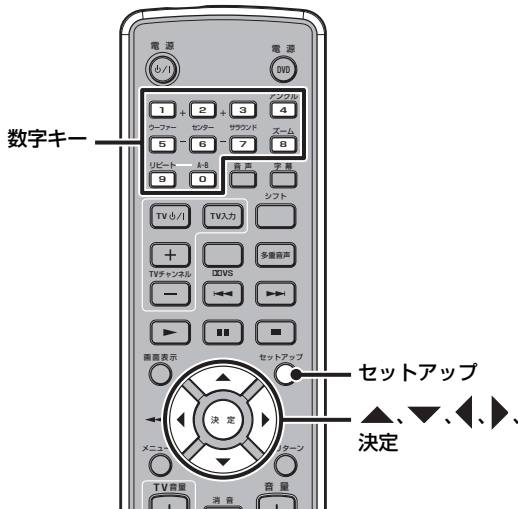
セットアップメニューで「PBC」(→ 23 ページ) を「OFF」に設定している場合、ディスクを再生してもプレイバックコントロールメニューは表示されません。

視聴制限を設定する DVD

視聴制限とは、パスワードにより特定のディスクをロックする（再生を制限する）機能のことです。ロックしたディスクを再生するには、設定したパスワード（→18ページ）の入力が必要になります。

■ 視聴制限レベルを設定する

視聴制限レベルを設定すると、それより高い視聴制限レベルに指定されている DVD ビデオ を本機で再生することができなくなります。各ディスクの視聴制限レベルについては、ジャケットなどの説明をご参照ください。



1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

2 ◀ または ▶ キーを押して「環境設定ページ」を選択し、▲ または ▼ キーを押して「視聴制限」を選択し、▶ キーを押す。



ご注意

STOP モード（→11ページ）を除き、本機にディスクがセットされているときは、「環境設定ページ」を選択できません。

3 ▲ または ▼ キーを押して視聴制限レベルを選択し、決定キーを押す。

1～7：選択したレベルより高いレベルのディスクに視聴制限を適用します。（数値が小さいほど制限レベルが厳しくなります。）

8（初期設定）：パスワードを入力しなくても、すべてのディスクの再生が可能です。

4 数字キーを押して、パスワード（6桁）を入力する。

ご注意

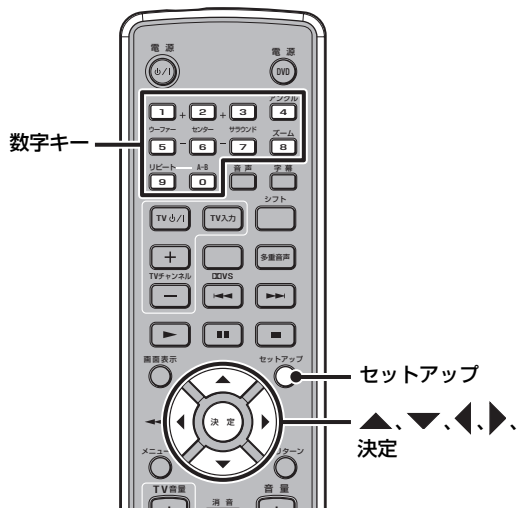
- 初期設定では、「000000」がパスワードに設定されています。必要に応じて変更してください（→18ページ）。
- パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを入力する代わりに「000000」を入力してください。



- 前の画面に戻るには、◀ キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。
- 視聴制限を一時的に解除してディスクを再生するには、ディスク挿入後にパスワード入力画面が表示されたら、数字キーを使ってパスワードを入力し、決定キーを押してください。

■ ディスクをロックする

特定のディスク（最大40）の再生を制限することができます。



1 ロックするディスクが本機にセットされている状態で、セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

- 2 ◀または▶キーを押して「一般設定ページ」を選択し、▲または▼キーを押して「ディスクロック」を選択し、▶キーを押す。

- 3 ▲または▼キーを押して「ロック」を選択し、決定キーを押す。

ディスクロックをオフにする

手順3で「ロック解除」を選択します。



- 前の画面に戻るには、◀キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。
- 視聴制限を一時的に解除してディスクを再生するには、ディスク挿入後にパスワード入力画面が表示されたら、数字キーを使ってパスワードを入力し、決定キーを押してください。

■ パスワードを変更する

視聴制限を一時的に解除するためのパスワードを設定します。

- 1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

- 2 ◀または▶キーを押して「環境設定ページ」を選択し、▲または▼キーを押して「パスワード」を選択し、▶キーを押す。

ご注意

STOPモード(→11ページ)を除き、本機にディスクがセットされているときは、「環境設定ページ」を選択できません。

- 3 決定キーを押して、パスワード変更画面を表示する。

- 4 数字キーを押して「古いパスワード」に現在のパスワード(6桁)を入力し、「新しいパスワード」と「パスワード確認」に新しく設定するパスワード(6桁)を入力する。

ご注意

- 初期設定では、「000000」がパスワードに設定されています。
- パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを入力する代わりに「000000」を入力してください。



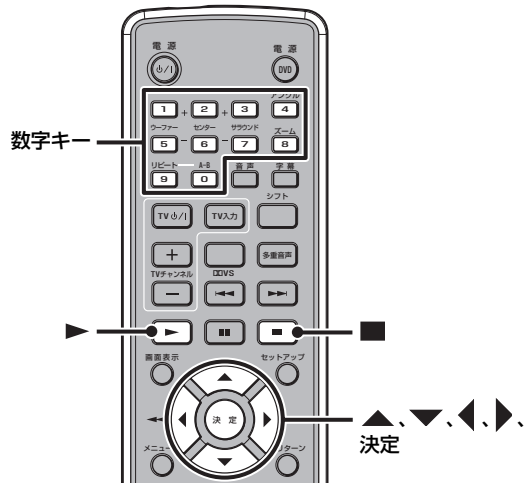
前の画面に戻るには、◀キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。

MP3 や JPEG 画像ディスクを楽しむ

市販のJPEG画像ディスクや、CD-RまたはCD-RWディスクに保存したJPEG画像やMP3データの本機で再生します。再生操作については、「基本的な再生操作」(→11ページ)をご参照ください。

ご注意

- ファイル名やフォルダ名に日本語や特殊文字が使用されている場合、本機では正しく表示されません。
- ディスクの構成や特性、録音状況などにより、ファイルが正しく表示されないことや、再生できないことがあります。
- 一つのフォルダに500個を超えるファイルが保存されている場合、ファイルが正しく表示されないことや、再生できないことがあります。ディスクを作成する際は、各フォルダのファイル数を500以下にしてください。



- 1 ディスク挿入口にディスクを挿入する。

ディスクメニューがテレビ画面に表示されます。スライドショーを開始するには、▶キーを押します。(一部の市販のJPEGディスクは、スライドショーを自動的に開始します。)

- 2 ▲または▼キーを押してフォルダを選択し、決定キーを押す。

選択したフォルダ内のファイルがテレビ画面に表示されます。

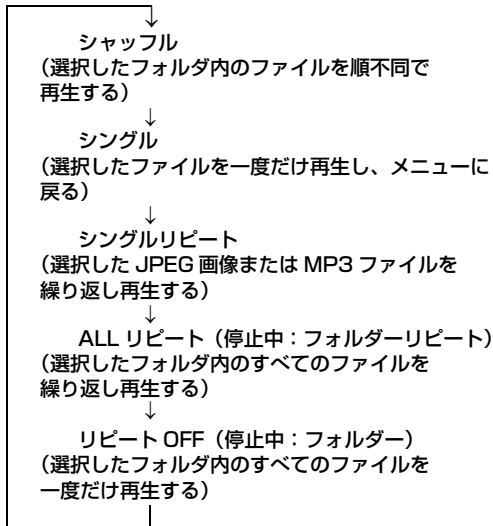
- 3 ▲、▼、または数字キーを押してファイルを選択し、決定キーを押す。

選択したファイルから再生が開始され、フォルダ内の最後のファイルまでを順番に再生します。



- JPEG画像を再生中に、シフトキーを押した状態でズームキーを繰り返し押すと、画像を拡大または縮小して表示します。画像を拡大して表示している場合、▲、▼、◀または▶キーを押して表示位置を調節できます。

- JPEG 画像を再生中に、▲ キーを押すと画像を上下に反転し、▼ キーを押すと左右に反転します。また、◀ または ▶ キーを押すと画像を 90 度回転します。
- JPEG 画像を再生中に、シフトキーを押した状態でアンクルキーを繰り返し押すと、画像を表示する際の画面効果を切りかえます。
- JPEG 画像ディスクや MP3 ディスクが本機にセットされている際に、シフトキーを押した状態でリピートキーを繰り返し押すと、下記の再生モードを設定することができます。



■ JPEG 画像を一覧表示する

選択しているフォルダ内の JPEG 画像を一覧表示します。

1 JPEG 画像を再生中に、■ キーを押す。

選択しているフォルダ内の JPEG 画像が一覧表示されます。

◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前または次のページに切りかわります。

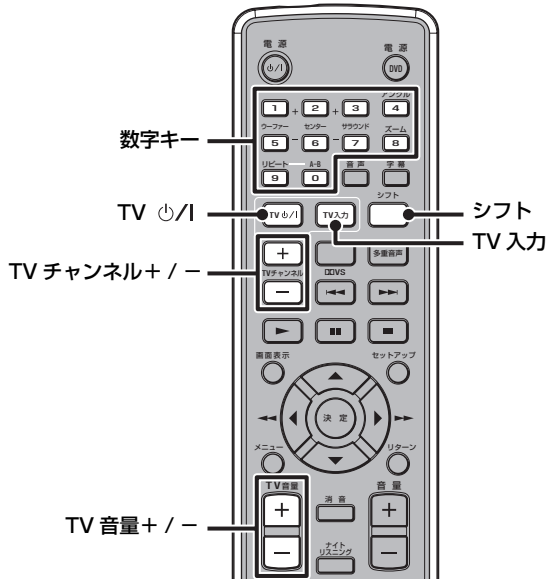


2 画像を指定して通常サイズで表示するには、▲、▼、◀、または ▶ キー押して画像を選択し、決定キーを押す。

- ☀
- 一覧表示画面で、▲、▼、◀、または ▶ キーを押して [] を選択後、決定キーを押すと、選択しているページの最初の画像からスライドショーを開始します。
- ディスクメニューに戻るには、メニューキーを押します。

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンにテレビのリモコンコード (→ 30 ページ) を登録すると、本機のリモコンでテレビ (一部の機能) を操作できるようになります。



1 シフトキーを押した状態で TV 電源 キーを押し、シフトキーを押したまま、数字キーでリモコンコード (3桁) (→ 30 ページ) を指定する。

初期設定では、「242 (ヤマハ)」が設定されています。

2 以下の操作を行ってリモコンコードが正しく登録されていることを確認する。

操作できない場合は、別のリモコンコード (複数ある場合) をお試しください。

TV 電源: テレビの電源 (オン/スタンバイ) を切りかえます。

TV 入力: テレビの入力を切りかえます。

TV 音量 +/-: テレビの音量を調節します。

TV チャンネル +/-: テレビのチャンネルを切りかえます。

オンスクリーンメニューで再生設定を変更する

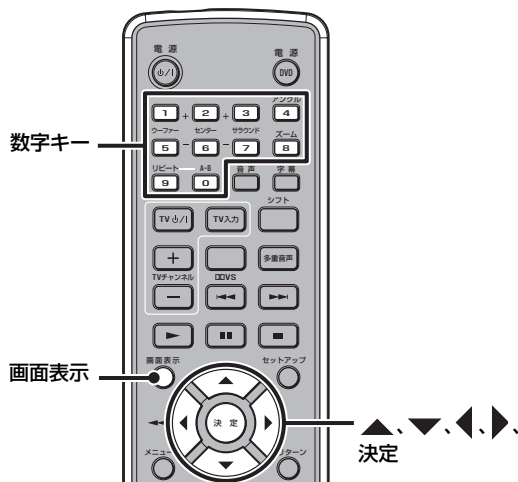
オンスクリーンメニュー（テレビ画面に表示されるメニュー）を使用して、DVD ビデオやビデオ CD（スーパービデオ CD）の再生に関する設定を変更することができます。オンスクリーンメニューの内容について詳しくは、「オンスクリーンメニュー一覧」をご参照ください。

ご注意

ビデオ CD またはスーパービデオ CD でオンスクリーンメニューを表示した場合、プレイバックコントロール（→ 16 ページ）は自動的に非表示になります。



必要に応じて、オンスクリーンメニューの言語を選択することができます。詳しくは、「ステップ 3：オンスクリーンディスプレイ（OSD）の言語を設定する」（→ 9 ページ）をご参照ください。



1 再生中に画面表示キーを押して、テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示する。

現在の再生状態がオンスクリーンメニューに表示されます。表示される内容は、再生しているディスクの種類により異なります。

2 設定を変更する場合は、▲ または ▼ キーを押して項目を選択し、▶ キーを押す。

3 設定値を選択する場合は、▲ または ▼ キーを押して設定値を選択し、決定キーを押す。数値や時間を入力する場合は、数字キーを押す。



前の画面に戻るには、◀ キーを押します。オンスクリーンメニューを終了するには、画面表示キーを押します。

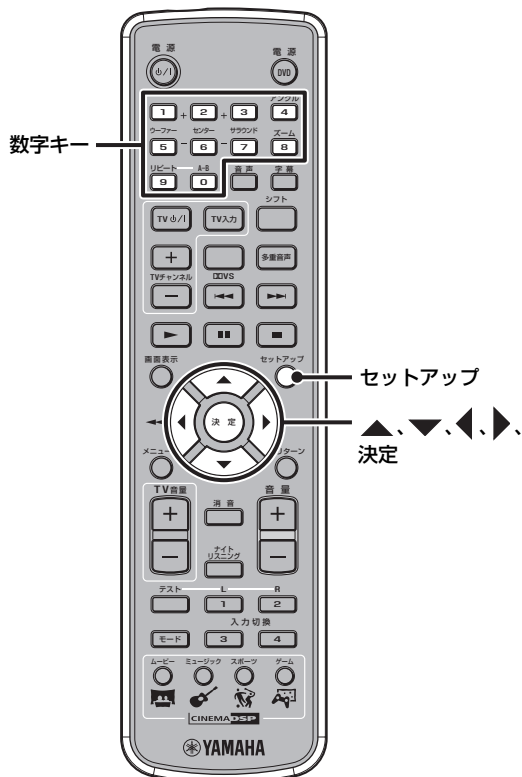
■ オンスクリーンメニュー一覧

DVD ビデオ	説明
タイトル	再生中のタイトル番号 / 総タイトル数
チャプター	再生中のチャプター番号 / 総チャプター数
音声設定	使用しているチャンネル、音声言語
字幕設定	使用している字幕言語
アングル	使用しているアングル番号 / 総アングル数
タイトル時間	再生中のタイトルの総時間
チャプター時間	再生中のチャプターの総時間
リピート	使用しているリピートモード
時間表示	オンスクリーンメニューで表示される時間の種類

ビデオ CD スーパービデオ CD	説明
トラック	再生中のトラック番号 / 総トラック数
トータル時間	再生中のディスクの総時間
トラック時間	再生中のトラックの総時間
リピート	使用しているリピートモード
時間表示	オンスクリーンメニューで表示される時間の種類

各種設定を変更する (セットアップメニュー)

セットアップメニューでは、本機の設定を変更したり、便利な再生機能を操作することができます。セットアップメニューの内容について詳しくは、「セットアップメニュー一覧」(→22ページ)をご参照ください。



1 セットアップキーを押して、テレビ画面にセットアップメニューを表示する。

2 ◀ または ▶ キーを押して、「一般設定ページ」、「オーディオ設定ページ」、「映像設定ページ」、または「環境設定ページ」を選択する。

ご注意

STOPモード(→11ページ)を除き、本機にディスクがセットされているときは、「環境設定ページ」を選択できません。

3 ▲ または ▼ キーを押してメニューを選択し、▶ キーを押す。

選択したメニューの中にサブメニューが1つだけある場合は、決定キーを押します。

サブメニューが複数ある場合は、▲ または ▼

キーを押してサブメニューを選択し、決定キーを押します。

4 ▲ または ▼ キーを押して設定値を選択し、決定キーを押す。

メニューによっては、パスワードを入力する必要があります。この場合は、数値キーを押してパスワードを入力してください。



前の画面に戻るには、◀ キーを押します。セットアップメニューを終了するには、セットアップキーを押します。

■ セットアップメニュー一覧

ページ	メニュー	サブメニュー	設定値
一般設定ページ	ディスクロック		詳しくは 17 ページをご参照ください。(初期値：ロック解除)
	DIM 表示		フロントパネルディスプレイの明るさを調節します。(初期値：100%) 100%：明るい 70%：やや薄暗い 40%：薄暗い
	プログラム	入カメニュー	詳しくは 14 ページをご参照ください。
	OSD 言語		詳しくは 9 ページをご参照ください。(初期値：日本語)
	スクリーンセーバー		テレビ画面の焼き付きを防止します。(初期値：ON) ON：再生停止または一時停止の 15 分後に、テレビ画面にスクリーンセーバーを表示します。 OFF：スクリーンセーバーを表示しません。
	スリープ		設定した時間の経過後、本機の電源を自動的にスタンバイに切りかえます。(初期値：OFF) 15 分：15 分後にスタンバイに切りかえます。 30 分：30 分後にスタンバイに切りかえます。 45 分：45 分後にスタンバイに切りかえます。 60 分：60 分後にスタンバイに切りかえます。 OFF：スリープ機能を使用しません。
オーディオ設定ページ	アナログ出力		アナログ信号の出力方法を設定します。(初期値：ステレオ) ステレオ：アナログ音声をフロントスピーカーチャンネルからのみ出力します。 LT/RT：アナログ音声をマルチスピーカーチャンネルで出力します。 DTS：アナログ信号を出力しません。
	デジタルオーディオ	デジタル出力	接続した外部機器に応じて、デジタル信号の出力方法を設定します。(初期値：すべて) OFF：デジタル信号を出力しません。 すべて：デジタル接続でマルチチャンネルデコーダー（アンプ）を本機に接続している場合は、この設定を選択します。 PCM のみ：デジタル接続でマルチチャンネル非対応のアンプを本機に接続している場合は、この設定を選択します。
		LPCM 出力	PCM 対応アンプを本機とデジタル接続している場合に、LPCM 信号の出力方法を設定します。サンプリング周波数が高いほど、音質が向上します。(初期値：48kHz) 48kHz：サンプリング周波数が 48kHz で録音されたディスクを再生する際に設定します。 96kHz：サンプリング周波数が 96kHz で録音されたディスクを再生する際に設定します。
	CD アップサンプリング*1		音楽 CD を高いサンプリング周波数に変換し、音質を向上させます。アップサンプリングを有効にすると、本機の出力は自動的にステレオに切りかわります。(初期値：OFF) OFF：サンプリング周波数を変換しません。 88.2kHz (X2)：オリジナルの 2 倍のサンプリング周波数に変換します。 176.4kHz (X4)：オリジナルの 4 倍のサンプリング周波数に変換します。

*1 本機に音楽 CD がセットされているときのみ、「CD アップサンプリング」メニューを選択できます。

ページ	メニュー	サブメニュー	設定値
映像設定ページ *2	TV タイプ		詳しくは 8 ページをご参照ください。(初期値：NTSC)
	TV ディスプレイ		テレビのサイズを設定します。再生するディスクが選択したフォーマットに対応していない場合、設定は反映されません。(初期値：4:3 パンスキャン) 4:3 パンスキャン ：ワイドではないテレビをご使用の場合、ワイドの映像を再生すると、縦は画面いっぱい、横は左右がカットされた状態で見えます。 4:3 レターボックス ：ワイドではないテレビをご使用の場合、ワイドの映像を再生すると、画面の上下に帯が入った状態で見えます。 16:9 ：ワイドテレビをご使用の場合は、この設定を選択します。
	プログレッシブ*3		D 端子ケーブルを使用して、本機のコンポーネント出力 (D1/D2) 端子とプログレッシブ対応テレビを接続している場合に、高品質でちらつきの少ない映像を出力します。(初期値：OFF) ON ：プログレッシブ出力を有効にします。 OFF ：プログレッシブ出力を無効にします。
	画質設定		お好みの画質を設定します。(初期値：標準) 標準 ：標準的な画質になります。 明るい ：画像がより明るく映し出されます。 ソフト ：画像がより柔らかく映し出されます。 パーソナル ：明るさ、コントラスト、色彩、カラーの画質を細かく調節します。(▲ または ▼ キーで項目を選択し、◀ または ▶ キーで調節します。確定するには、決定キーを押します。)
環境設定ページ *4	音声設定		詳しくは 9 ページをご参照ください。(初期値：日本語)
	字幕設定		詳しくは 9 ページをご参照ください。(初期値：OFF)
	ディスクメニュー		詳しくは 9 ページをご参照ください。(初期値：日本語)
	視聴制限		詳しくは 17 ページをご参照ください。(初期値：レベル 8)
	PBC		ビデオ CD やスーパービデオ CD を再生するときに、プレイバックコントロールメニューを表示するかしないかを設定します。(初期値：ON) ON ：プレイバックコントロールメニューを自動的に表示します。 OFF ：プレイバックコントロールメニューを表示せずに、再生を開始します。
	MP3/JPEG ナビ		MP3 や JPEG 画像を再生するときに、再生操作画面を表示するかしないかを設定します。(初期値：メニューあり) メニューなし ：再生操作画面を表示せずに、すべてのファイルを自動的に再生します。 メニューあり ：再生操作画面を表示し、お好みのファイルを選んで再生します。
	VR リスト		VR (ビデオレコーディング) 対応ディスクを再生する際に、オリジナルリストとプレイリストのどちらを表示するかを設定します。(初期値：オリジナルリスト) オリジナルリスト ：実際に記録されているタイトルを表示します。 プレイリスト ：オリジナルリストをもとに作成されたタイトルを表示します。(作成していない場合は選択できません。)
	パスワード	変更	詳しくは 18 ページをご参照ください。
デフォルト	リセット	すべての設定値 (パスワードを除く) を初期状態に戻します。	

*2映像表示はテレビ側の設定も影響します。必要に応じて、テレビ側の映像設定も変更してください。

*3プログレッシブモードは、プログレッシブ対応テレビと本機を D 端子で接続した場合のみ機能します。

*4本機にディスクがセットされているときは、「環境設定ページ」を選択できません。

ご注意

本機のプログレッシブ機能と互換性のないプログレッシブ対応テレビを使用している場合、プログレッシブモードでのディスク再生時に画像が乱れる場合があります。この場合、プログレッシブモードを OFF にして通常出力で再生してください。

その他の情報

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

■ 全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることをご確認ください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒経ってから電源コードをコンセントに再接続して電源をオンにしてください。
スピーカーから音が出ない	ケーブルが正しく接続されていない。	すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。(→ 6 ページ)
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。(→ v ページ)
	DTS 信号の音声をアナログ端子から出力している。	デジタル端子を使用して出力してください。
	セットアップメニューのデジタル出力の設定が「PCMのみ」を選んでいる状態で、DTS 信号の音声を再生している。	デジタル出力の設定を「すべて」に変更してください。(→ 22 ページ)
テレビ画面に画像が表示されない	ケーブルが正しく接続されていない。	すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。(→ 6 ページ)
音が突然出なくなる	スリープタイマー (→ 22 ページ) を設定している。	電源をオンにして、再生しなおしてください。

■ リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」(→ 7 ページ)をご参照ください。
	本体フロントパネルのリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。(→ 7 ページ)

■ ディスクの再生

症状	原因	対策
本機にディスクを挿入できない	本機の電源がオンになっていない。	本機の電源をオンに切りかえ、ディスプレイに「NO DISC」と表示されてからディスクを挿入してください。
	電源オン後のイニシャライズが完了していない。	本機のイニシャライズが完了し、ディスプレイに「NO DISC」と表示されてからディスクを挿入してください。
	本機が前の操作の処理を行っており、ディスクを受け入れる準備ができていない。	ディスプレイに「NO DISC」と表示されてからディスクを挿入してください。
	既に別のディスクが本機にセットされている。	セットされているディスクを取り出し、ディスプレイに「NO DISC」と表示されてから、目的のディスクを挿入してください。
	イジェクトしたディスクを（ディスクの半分がディスク挿入口から出た状態で）再度挿入しようとしている。	△キーまたは▶キーを押すか、ディスク挿入口からディスクを完全に取り出してから再度挿入してください。
特定の機能がはたらかない	ディスクの種類により本機の機能に対応していない場合があります。	—
▶キーを押しても再生が始まらない（すぐに停止する）	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。（→vページ）
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1、2時間ほど放置してから再度操作してください。
音声／字幕言語を切りかえられない	マルチ言語に対応していないディスクを使用している。	音声／字幕言語は、マルチ言語対応DVDでのみ切りかえ可能です。ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明を参照して、ご使用のディスクがマルチ言語に対応しているかどうかご確認ください。
字幕が表示されない	字幕言語の設定で「OFF」が選択されている。	表示する字幕言語を選択してください。（→15ページ）
	字幕データが収録されていないディスクを使用している。	字幕は、字幕対応DVDでのみ表示可能です。ディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのケースに記載されている説明などを参照して、ご使用のディスクが字幕表示に対応しているかどうかご確認ください。
	A-Bリピート（→12ページ）を設定している。	A-Bリピートを設定している場合、選択範囲以外で字幕が表示されないことがあります。この場合はA-Bリピートを解除してください。（→12ページ）
ディスクアングル（表示角度）を切りかえられない	マルチアングルに対応していないディスクを使用している。	ディスクアングルは、マルチアングル対応DVDでのみ切りかえ可能です。ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明を参照して、ご使用のディスクがマルチアングルに対応しているかどうかご確認ください。
DVDをビデオデッキで録画できない	コピープロテクトがかかっているDVDを録画しようとしている。	ほとんどの場合、市販のDVDにはコピープロテクトがかかっています。これらのDVDを複製することはできません。
画質が良くない	早戻し／早送り再生をしている。	早戻し／早送りを操作中、画像が多少乱れることがあります。故障ではありません。
テレビ（モニター）に映像が表示されない	セットアップメニューの「TVタイプ」の設定が使用しているテレビの仕様と一致していない。	「ステップ2：映像方式を設定する」（→8ページ）を実行してください。
	プログレッシブ入力に対応していないテレビでプログレッシブ機能を使用している。	本機のプログレッシブモードをOFFにして通常出力に戻してください。（→23ページ）

症状	原因	対策
画面サイズがおかしい (映像が歪んだり、字幕が 途切れたりする)	セットアップメニューの「TV ディスプレイ」の設定、またはテレビ側の映像設定が正しく選択されていない。	セットアップメニューの「TV ディスプレイ」(→ 23 ページ) の設定、およびテレビ側の映像設定を確認し、必要に応じて変更してください。
	プログレッシブ機能を使用して、縦横比が 4:3 の映像を 16:9 ワイド画面テレビで再生している。	セットアップメニューの「TV ディスプレイ」(→ 23 ページ) の設定を変更してください。設定を変更できない場合は、プログレッシブモードを OFF にして通常出力に戻してください。(→ 23 ページ)
映像の一部が二重にぶれて表示される	映像ソフトそのものの編集方法や素材が本機のプログレッシブ機能に対応していない。	本機のプログレッシブモードを OFF にして通常出力に戻してください。(→ 23 ページ)
ディスクが勝手にイジェクトされる	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。(→ v ページ)

用語解説

トラック (CD/ビデオ CD/スーパービデオ CD)

CD、ビデオ CD、スーパービデオ CD は、いくつかの区切り (トラック) に分けられています。これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

サンプリング周波数

アナログ音声信号をデジタル信号化する際に、1 秒間にサンプリング (信号の大きさを数値に置き換えること) を行う回数を指します。再生できる周波数帯はサンプリング周波数で決まるので、サンプリング周波数が高いほど再生可能な音域が広がります。

タイトル、チャプター (DVD ビデオ)

DVD ビデオは、いくつかの大きな区切り (タイトル) と小さな区切り (チャプター) に分けられています。それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

チャンネル (ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例) 5.1 チャンネル

- ・ フロントスピーカー [L (1ch)/R (1ch)]
- ・ センタースピーカー (1ch)
- ・ サラウンドスピーカー [L (1ch)/R (1ch)]
- ・ サブウーファー [1ch × 0.1*=0.1ch]

* 低音の出力を補うサブウーファーは、周波数範囲が他のスピーカーに比べて狭いので、0.1 チャンネルと扱われます。

DTS (Digital Theater Systems)

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル・サラウンド・システムです。最大 5.1 チャンネルのサウンドが再生でき、圧縮率が低いため、リアルな音響効果が得られます。

D 端子

最新の AV 機器間での映像信号の伝送に用いられる端子で、コンポーネントビデオ信号とコントロール信号 (走査線、アスペクト比、インタレース/プログレッシブの情報) を、一本の専用ケーブルで接続できます。その性能に応じてランクが D1 から D5 に分けられています。

NTSC (National Television System Committee)

日本を含むアジア、北米や中央アメリカ、南米で多く採用されている映像方式です。走査線は 525 本で、毎秒 30 フレームの画像を送る方式です。

PCM (Pulse Code Modulation)

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1kHz/16bit で記録されているのに対し、DVD では 48kHz/16bit ~ 192kHz/24bit で記録されているので、CD よりも高音質で再生できます。また、この信号を、情報量を損なうことなく圧縮したものをパケット PCM (PPCM) といいます。

パン&スキャン/レターボックス

一般的に DVD ビデオは、ワイドテレビ画面 (画面の横縦比は 16 : 9) での再生を想定して作られています。したがって、ワイドテレビでは、記録されたイメージ通りの映像を見ることができます。このような DVD ビデオの映像を 4 : 3 のテレビ画面に映し出そうとすると、16 : 9 の映像が 4 : 3 の画面に収まらなくなります。この問題を解決するための映像方式がパン&スキャン、あるいはレターボックスと呼ばれるものです。

- ・ パン&スキャン 映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- ・ レターボックス 画面の上下に黒い帯を入れて、4 : 3 の画面で 16 : 9 の映像を再現します。

PAL (Phase Alternating Line)

PAL はイギリスや西ヨーロッパのほか、南米や中東、アジア、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸国などで採用されている映像方式です。走査線は 625 本で、毎秒 25 フレームの画像を送る方式です。

プログレッシブ

一画面のすべての走査線を、一度に表示する走査方式です。走査線を奇数段、偶数段にわけ、交互で表示するインタレースに比べ、ちらつきの少ない、滑らかな映像を映し出すことができます。

著作権とロゴマーク

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。



ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。

「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS および DTS Digital Out はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

言語コード一覧

セットアップメニューの「音声言語」、「字幕言語」、「ディスクメニュー」を設定する際（→9ページ）、選択したい言語がリストにない場合は、「その他」を選択し、数字キーで4桁の言語コード（下記）を入力してから、決定キーを押してください。

アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アヴェスター	6569
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アフアル	6565
アフリカーンス	6570
アブバジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イスピアク	7375
イタリア	7384
イディッシュ	8973
イド	7379
イヌクティット	7385
インターリングア	7369
インドネシア	7368
ウィグル	8571
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オセッ	7983
オランダ	7876
オロモ	7977
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
カナダ	7578
カンボジア	7577
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
キクユ	7573
キニャルワンダ	8287
キルギス	7589

ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
古スラヴ(古ブルガリア)	6785
コミ	7586
コルシカ	6779
サーメ	7871
サモア	8377
サルデーニャ	8367
サンゴ	8371
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7486
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スラヴ	6785
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワート	8383
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
ソト(南ソト)	8384
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タヒチ	8489
タミル	8465
チェコ	6783
チェワ(ニャンジャ)	7889
チベット	6679

チュアング	9065
中国語(広州語)	7574
中国語(北京語)	9072
ツォンガ	8483
ツワナ	8478
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
ナバホ	7886
日本語	7465
ヌデベレ(北ヌデベレ)	7868
ヌデベレ(南ヌデベレ)	7882
ネパール	7869
ノルウェー(ブークモール)	7866
ノルウェー(ニーノシュク)	7878
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
バーリ	8073
バシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビスラマ	6673
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
プロバンス	7967
ヘブライ	7269
ベトナム	8673

ヘレロ	7290
ペロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ベルシャ	7065
ポーランド	8076
ボスニア	6683
ポルトガル	8084
マーシャル	7772
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782

マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マン島	7186
モルダビア	7779
モツ	7279
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
リンバーガー	7673

ルーマニア	8279
ルクセンブルグ	7666
ルンディ	8278
レトロマンズ	8277
ロシア	8285
ワロン	8765
ヴォラピュック	8679
ンドンガ	7871

リモコンコード一覧

本機のリモコンにリモコンコードを登録すると (→ 19 ページ)、本機のリモコンでテレビ (一部の機能) を操作できるようになります。

ご注意

- テレビの機種によっては、一部またはすべての機能を操作できない場合があります。このような場合はテレビに付属しているリモコンをご使用ください。
- 複数のリモコンコードが記載されている場合は、お使いの機器に一致するものが見つかるまで順番にお試しください。

テレビ

メーカー名	リモコンコード						
アイワ	294	276	283	284			
NEC	297	252	282				
三洋	295	233	279	272	273	274	212
JVC (ビクター)	296	246	247	286			
シャープ	292	239	232	213			
ソニー	263	214					
東芝	292	226	267	215			
パイオニア	226	235	254	255	268		
パナソニック	234	235	236	253	288	211	
日立	297	239	242	243	285		
富士通	289						
フナイ	277	278					
三菱	297	239	242	243	285		
ヤマハ	299	292	242	285	287	253	

主な仕様

オーディオ部

- ・出力レベル (1 kHz、0 dB) 2 V
- ・S/N比 105 dB 以上
- ・ダイナミックレンジ 100 dB 以上
- ・全高調波歪率 0.003% 以下
- ・再生周波数帯域
 - DVD (fs 96 kHz) 4 ~ 44 kHz
 - DVD (fs 48 kHz) 4 ~ 22 kHz
 - SVCD (fs 48 kHz) 4 ~ 22 kHz
 - SVCD (fs 44.1 kHz) 4 ~ 20 kHz
 - CD/VCD 4 ~ 20 kHz

ビデオ部

- ・ビデオ入力信号
 - コンポジットビデオ 1 Vp-p/75Ω
 - D1/D2 1 Vp-p/75Ω (Y)
0.7 Vp-p/75Ω (PB, PR)

総合

- ・電源電圧 / 周波数 AC 100 V、50/60 Hz
- ・消費電力 8 W
- ・待機時消費電力 1 W 以下
- ・レーザー
 - タイプ 半導体
 - 波長 650 nm (DVD)、780 nm (VCD/CD)
 - 出力 7 mW (DVD)、10 mW (VCD/CD)
- ・寸法 (幅×高さ×奥行き) 215 × 70 × 315 mm
- ・質量 2.4 kg

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当あたりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。



ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-01-1808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

